



堤防決壊箇所の様子（提供：庄内川河川事務所）

この強烈な豪雨により、西区の北部を流れる新川の左岸堤防（あし原町付近）が100mにわたって決壊、西区だけで住家の全壊が4棟、半壊が84棟、床上浸水が2,450棟、床下浸水が4,787棟という多大な被害が発生しました。



庄内緑地周辺の様子（提供：庄内川河川事務所）

東海豪雨やその後の豪雨被害などを受け、堤防の補強や嵩上げ、雨水貯留施設の整備など浸水被害軽減のための対策を進めてきました。
しかし、ハード面での整備には限界があります。
本ガイドを参考に家族で話し合い、避難先の検討や非常持出品の準備、マイタイムラインの作成など、日頃からの備えを進めましょう。

平成12年9月11日から12日にかけて、本州上に停滞していた前線に対し、日本の南に向かっていた台風周辺の湿った空気が断続的に流入したため、東海地方では長い時間にわたって積乱雲が発生・発達しました。
名古屋市では日最大1時間降水量や日降水量が観測史上第1位を更新するなど猛烈な雨が降り、2日間の総降水量は名古屋で567mmと年降水量の3分の1を超えました。

西区の浸水状況図



出典：平成12年名古屋市浸水実績図（名古屋市）より西区抜粋

いざという時の連絡は

災害時の連絡先

西区役所（区本部）	523-4511～5
西消防署	521-0119
西土木事務所	522-8381
上下水道局	
北部管路センター（稲西）	412-1291
西サービスステーション	531-5336

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には以下の番号で被災地の人へ伝言が残せます。

171 + 1 + 相手の電話番号

伝言を録音(30秒以内)

171 + 2 + 相手の電話番号

伝言が再生

西区水害 避難行動ガイド

発行 名古屋市西区役所／令和3年12月
制作協力 名古屋大学減災連携研究センター 特任教授 田代 喬／特任准教授 荒木 裕子

問い合わせ先 名古屋市西区役所区政部総務課 名古屋市西区花の木二丁目18番1号 ☎052-523-4513

本書に掲載した地図の一部は、国土地理院発行の基盤地図情報を使用しました。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R3JHs 344）

事前の備えが命を救う

西区水害 避難行動ガイド



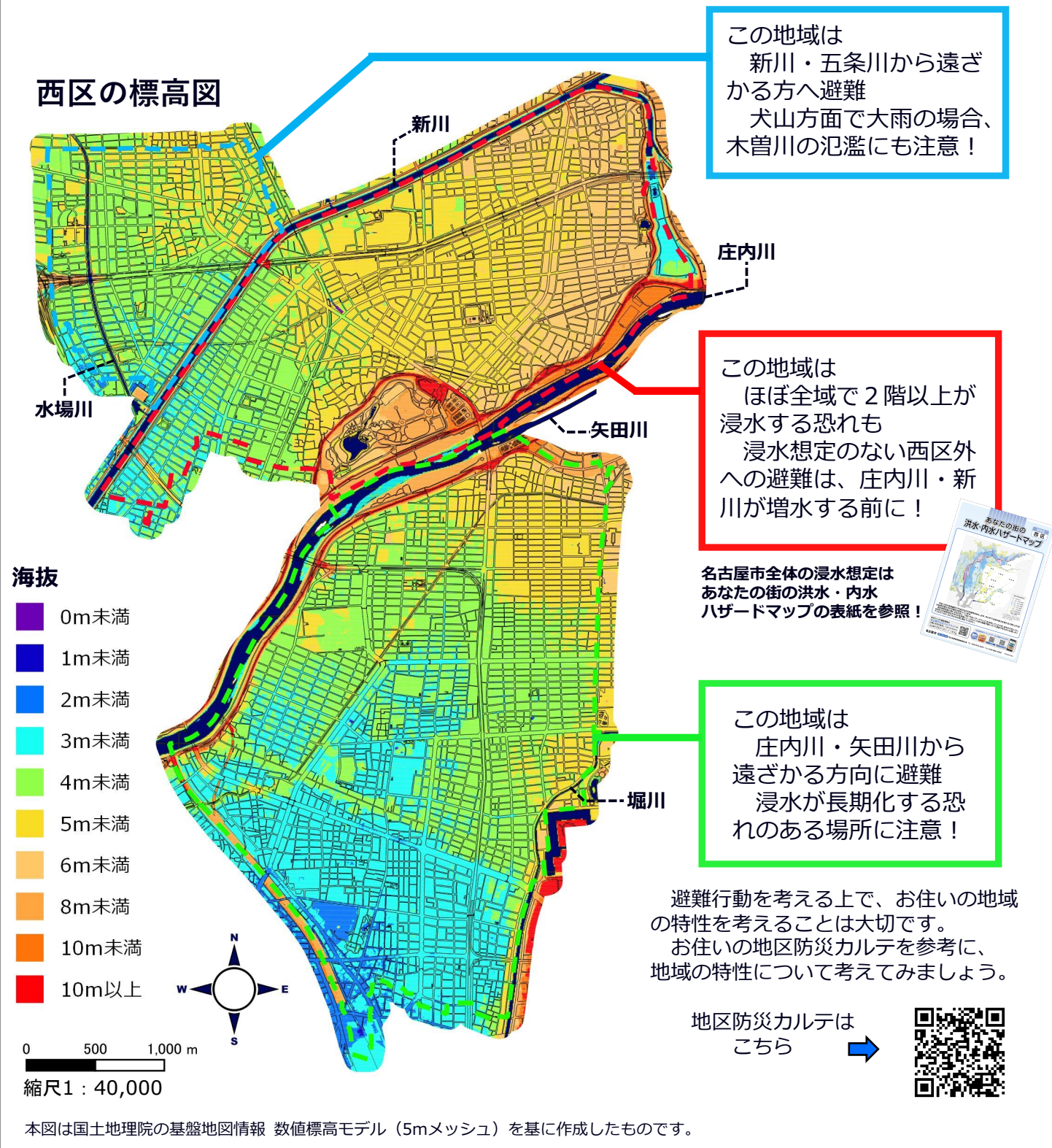
もくじ	01	はじめに知ろう、地域の特性
	02	マップでわかる3つの危険
	03-04	庄内川が氾濫した場合
	05	新川が氾濫した場合、矢田川が氾濫した場合
	06	木曽川が氾濫した場合
	07	大切なのは事前の準備
	08	防災情報を入手しよう
	09-10	マイタイムラインを作ってみよう

災害時に慌てないために

近年、大雨の発生頻度が増加し、1時間に100mmを超える記録的な大雨による被害も各地で発生しています。
東海豪雨から21年、新たな災害はいつやってきてもおかしくありません。
いざという時、慌てずに行動するために家族全員で話し合い、避難の方法や日ごろの備えを確認しておきましょう。

本書は概ね**1000年に一度（想定最大規模）**の大雨による浸水想定を基に作成しています。

まずは、西区の特性やお住いの地域の標高を確認してみましょう。
西区は、庄内川などが運んできた土砂の堆積によって形成された平坦な土地がほとんどです。
そのため、洪水時に逃げ場所となるような高台の土地がありません。
庄内川、新川など複数の河川の洪水に注意する必要があり、堤防付近や周囲より低い土地では浸水被害が大きくなる恐れがあります。



本ガイドにおける浸水想定について

現在、名古屋市が配布している洪水・内水ハザードマップは概ね200年に一度の大雨を想定したもので、河川堤防などの整備計画の目標となる規模の大雨になっています。
本ガイドにおける各河川の浸水想定は、概ね1000年に一度の大雨を想定したものであり、発生頻度は低いものの理論上考えられる想定最大規模の大雨に対応したものとなっています。

次ページからはじまる各河川のマップでは、水害時における3つの危険が確認できます。

浸水深（想定最大規模） 自宅や家財が水に沈む

河川が氾濫した場合に、どの高さまで水に浸かる恐れがあるのかを示したものです。本マップでは右の図で示した区分により浸水する階数を表記しています。

防災のポイント

お住いの避難可能な階の床上を超える浸水深が想定される地域では、自宅に留まると危険です。
早めに浸水のない安全な地域や、高い建物への避難をして下さい。

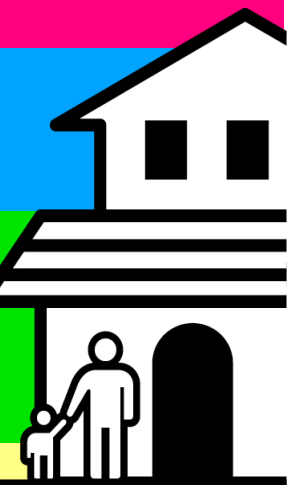


3階床上浸水以上
5.0m以上

2階床上浸水
3.0m—5.0m未満

1階床上浸水
0.5m—3.0m未満

床下浸水 0.5m未満



浸水継続時間 ライフライン停止、避難生活の長期化

河川が氾濫した場合に、床上浸水（0.5m以上）が継続する時間を示したものです。
本マップでは床上浸水が解消するまでの日数を区分し、床上浸水が3日以上継続する地域を長期浸水地域と位置付けています。

防災のポイント

浸水が長期化する地域では、ライフラインの確保やトイレ、生活ゴミの処理など様々な問題が生じます。
日頃からの備蓄に努めるとともに、浸水のない安全な地域への避難を検討して下さい。

使えない



洗えない



流せない



家屋倒壊等氾濫想定区域 濁流に流される

付近の堤防が決壊した場合に、氾濫した水が急激な勢いで流れ込み、木造家屋が倒壊したり、家ごと浮いて流される恐れがある区域を示したものです。

防災のポイント

この区域の木造家屋にお住いの方は、自宅に留まると**命の危険性**があります。早めに浸水のない安全な地域や、堅牢な建物への避難をして下さい。



洪水浸水想定区域図について

本ガイドのマップは国土交通省、愛知県の作成した洪水浸水想定区域図を基に作成しています。
洪水浸水想定区域は、洪水予報河川もしくは水位周知河川について、水防法の第14条に基づき指定するもので、その河川が氾濫した場合の浸水想定について、一定の条件下でのシミュレーションを行い、その結果を図としてまとめることになっています。
各河川の洪水浸水想定区域図は河川管理者のWebサイトにて公表されています。

庄内川・矢田川は
こちら



新川は
こちら



木曽川は
こちら



庄内川が氾濫した場合

庄内川の浸水想定区域は**西区全域**です。
どの地域の方も、なんらかの避難行動が必要です。

避難時は

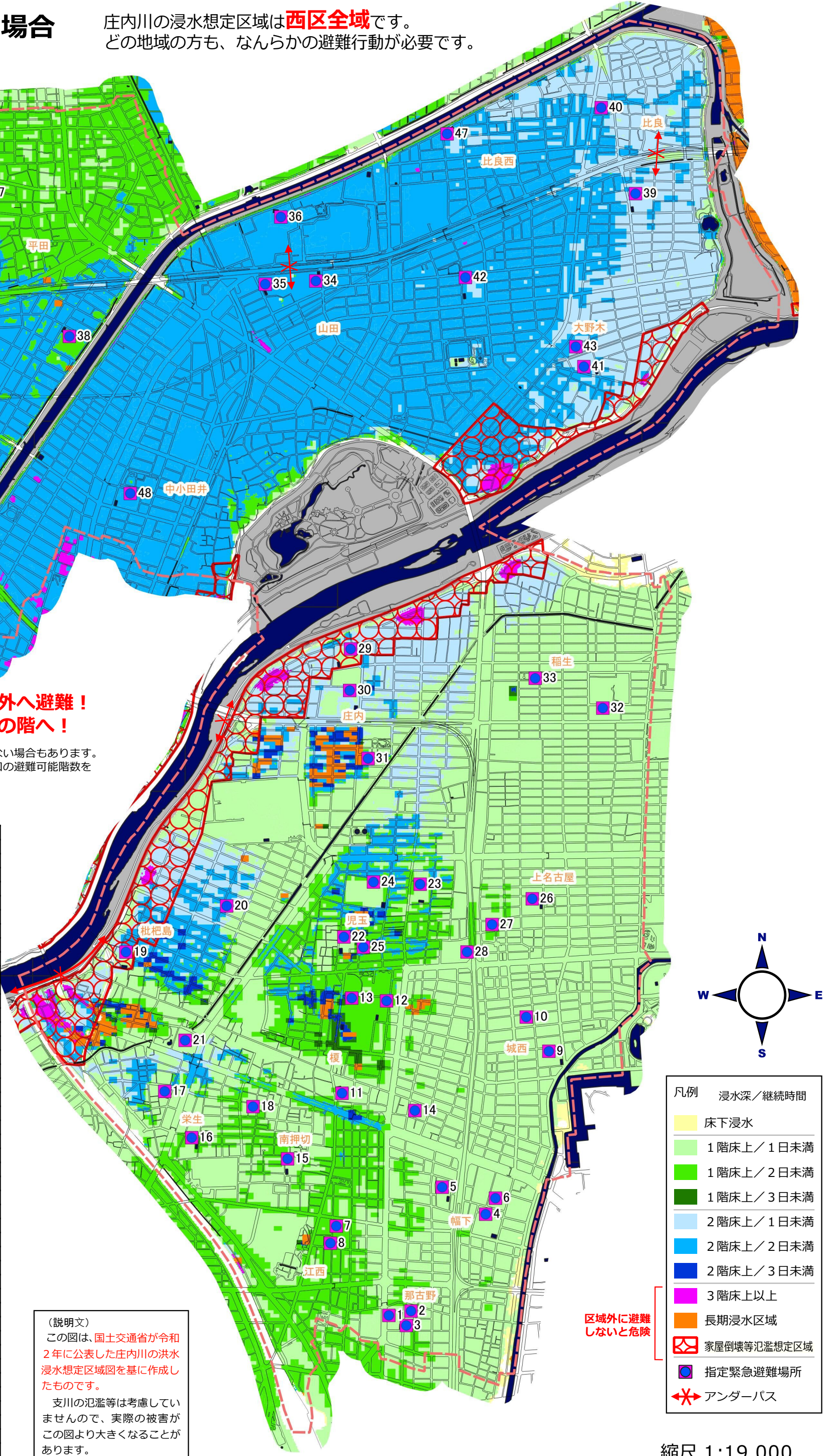
事前に浸水想定のない西区外へ避難！
または浸水想定階数より上の階へ！

浸水想定により体育館が避難場所として使えない場合もあります。
指定緊急避難場所に避難する場合には建物入口の避難可能階数を
示すプレートを確認して下さい。

指定緊急避難場所一覧

no	名称	住所
1	旧那古野小学校	那古野二丁目14番 1号
2	那古野コミュニティセンター	西区那古野二丁目15番25号
3	第三幼稚園	西区那古野二丁目15番1号
4	なごや小学校	幅下一丁目7番17号
5	菊井中学校	新道一丁目 6番33号
6	幅下コミュニティセンター	幅下一丁目 9番30号
7	旧江西小学校	菊井二丁目12番32号
8	江西コミュニティセンター	西区菊井二丁目23番 3号
9	城西小学校	城西三丁目14番25号
10	城西コミュニティセンター	城西四丁目 2番21号
11	榎小学校	押切一丁目12番25号
12	天神山中学校	天神山町 4番12号
13	県立名古屋西高等学校	天神山町 4番 7号
14	榎コミュニティセンター	西区浅間二丁目 8番18号
15	南押切小学校	則武新町二丁目14番 3号
16	栄生小学校	栄生一丁目27番26号
17	栄生コミュニティセンター	西区栄生二丁目13番 4号
18	名古屋市西文化センター	栄生一丁目 3番20号
19	枇杷島小学校	枇杷島三丁目16番33号
20	枇杷島コミュニティセンター	西区枇杷島五丁目11番15号
21	枇杷島スポーツセンター	枇杷島一丁目 1番 2号
22	児玉小学校	児玉二丁目 3番33号
23	浄心中学校	児玉一丁目15番12号
24	西陵高等学校	児玉二丁目20番65号
25	児玉コミュニティセンター	西区児玉二丁目 4番14号
26	上名古屋小学校	上名古屋三丁目 4番18号
27	上名古屋コミュニティセンター	西区上名古屋二丁目23番22号
28	西生涯学習センター	浄心一丁目 1番45号
29	庄内小学校	新福寺町 2丁目 5番地の 1
30	名塚中学校	新福寺町 2丁目 1番地の 2
31	庄内コミュニティセンター	西区鳥見町 1丁目24番地の 2
32	稲生小学校	香呑町 2丁目84番地
33	稲生コミュニティセンター	又穂町 5丁目40番地
34	山田小学校	八筋町 381番地の 1
35	山田中学校	八筋町 363番地の 1
36	山田高等学校	二方町19番地の 1
37	平田小学校	西原町88番地
38	平田中学校	山木一丁目 1番地
39	比良小学校	比良二丁目 175番地
40	比良コミュニティセンター	西区比良三丁目 154番地
41	大野木小学校	大野木三丁目17番地
42	山田東中学校	宝地町10番地
43	大野木コミュニティセンター	西区大野木四丁目 181番地
44	浮野小学校	浮野町98番地
45	浮野コミュニティセンター	浮野町97番地の93
46	山田西地域センター	西区長先町 173番地
47	比良西小学校	玉池町 347番地
48	中小田井小学校	中小田井二丁目 189番地

(説明文)
この図は、国土交通省が令和2年に公表した庄内川の洪水浸水想定区域図を基に作成したものです。
支川の氾濫等は考慮していませんので、実際の被害がこの図より大きくなることがあります。
前提条件 庄内川流域
24時間総雨量 578mm



凡例

浸水深／継続時間

床下浸水

1階床上／1日未満

1階床上／2日未満

1階床上／3日未満

2階床上／1日未満

2階床上／2日未満

2階床上／3日未満

3階床上以上

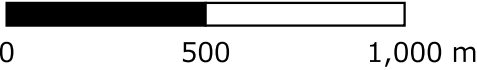
長期浸水区域

家屋倒壊等氾濫想定区域

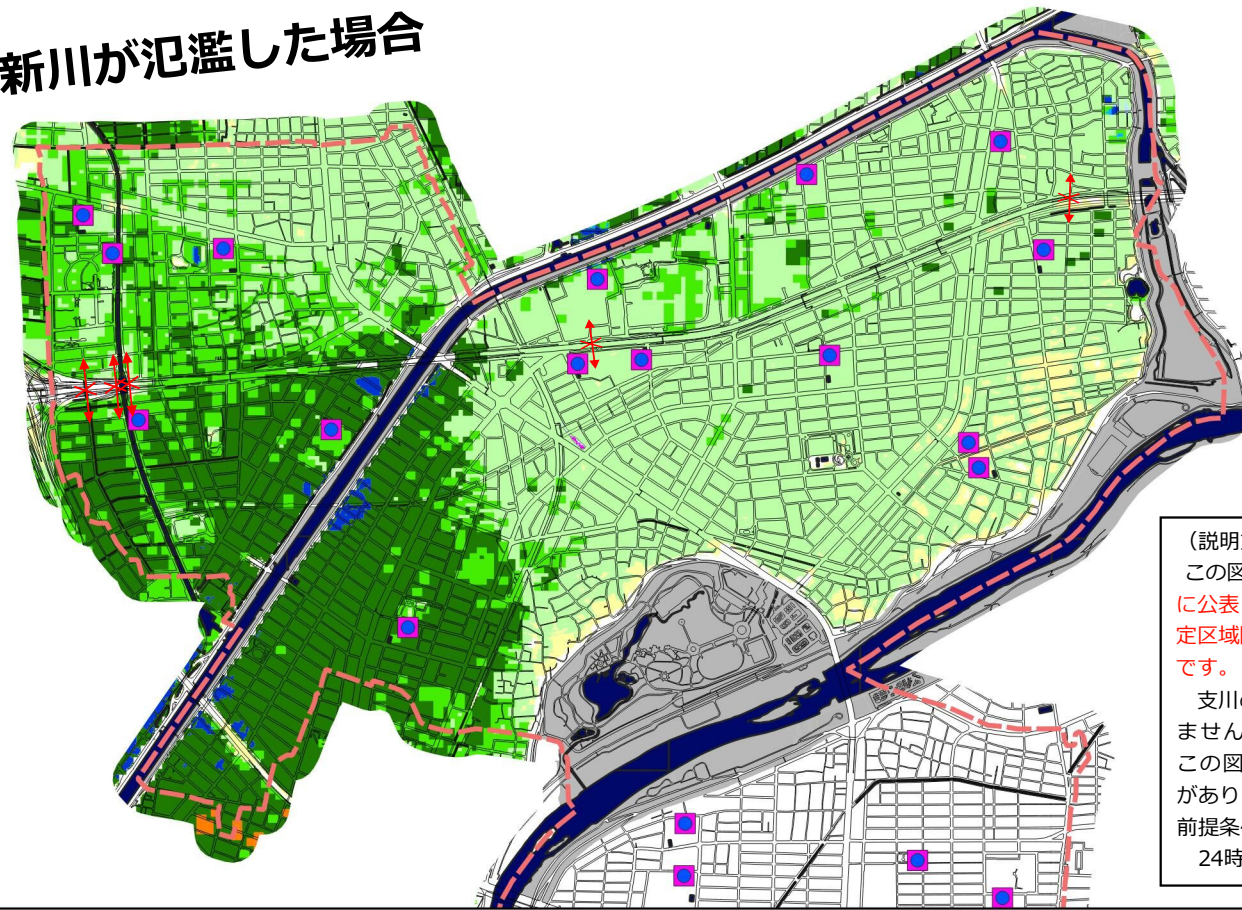
指定緊急避難場所

アンダーパス

縮尺 1:19,000

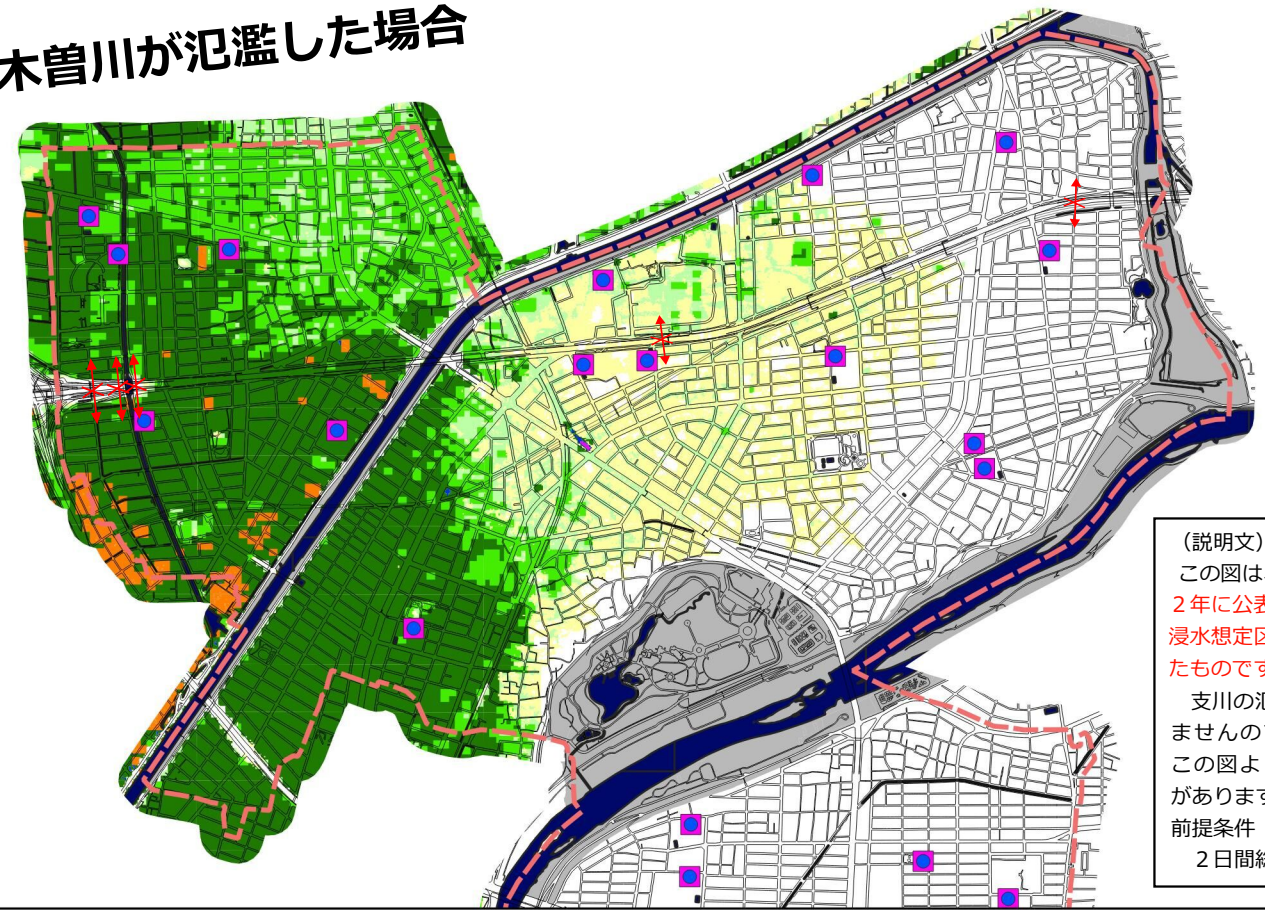


新川が氾濫した場合



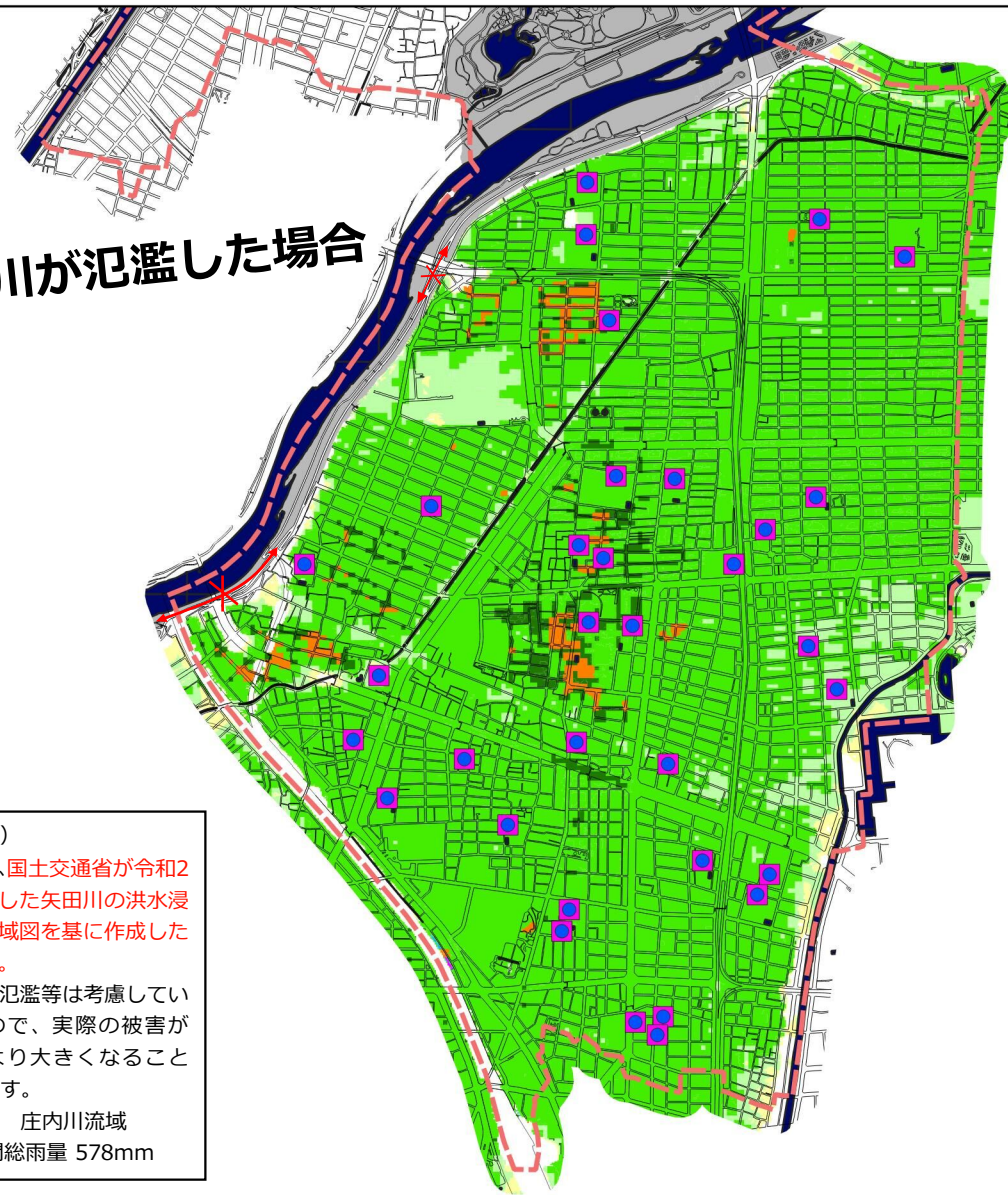
(説明文)
この図は、愛知県が平成30年に公表した新川の洪水浸水想定区域図を基に作成したものです。
支川の氾濫等は考慮していませんので、実際の被害がこの図より大きくなる可能性があります。
前提条件 新川流域
24時間総雨量 751mm

木曽川が氾濫した場合



(説明文)
この図は、国土交通省が令和2年に公表した木曽川の洪水浸水想定区域図を基に作成したものです。
支川の氾濫等は考慮していませんので、実際の被害がこの図より大きくなる可能性があります。
前提条件 木曽川流域
2日間総雨量 527mm

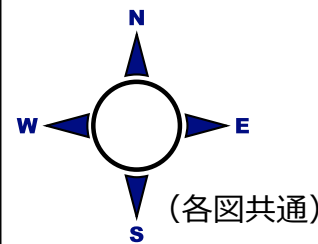
矢田川が氾濫した場合



(説明文)
この図は、国土交通省が令和2年に公表した矢田川の洪水浸水想定区域図を基に作成したものです。
支川の氾濫等は考慮していませんので、実際の被害がこの図より大きくなる可能性があります。
前提条件 庄内川流域
24時間総雨量 578mm

凡例 (各図共通)

- 床下浸水
- 1階床上／1日未満
- 1階床上／2日未満
- 1階床上／3日未満
- 2階床上／1日未満
- 2階床上／2日未満
- 2階床上／3日未満
- 3階床上以上
- 長期浸水地域
- 指定緊急避難場所
- アンダーパス



(各図共通)

縮尺 (各図共通)
1:30,000



浸水リスクをより詳しく知るために

国土交通省の「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)では、洪水浸水想定区域図で示した浸水の状況について、ある地点の堤防が決壊してから「何分後に、どの地点がどのくらい浸水するか」をアニメーションやグラフを用いて視覚的に分かりやすく調べることができます。

より詳しい浸水リスクを確認し、いざという時の避難行動を検討しておきましょう。

調べる前

1階床上浸水、
1日で床上浸水解消



調べた後！
浸水到達 決壊2時間後
最大浸水深2.06m
18時間で床上浸水解消

庄内川左岸16.2km地点 決壊後60分経過の浸水イメージ (浸水ナビより)



想定が決壊箇所
選択中の決壊箇所

自宅の場所

浸水ナビは
こちら

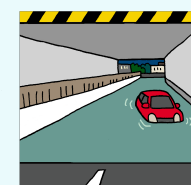


<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

余裕をもった早めの避難を

避難が遅れ、大雨で浸水してからお住いの外へ避難するのは危険です。また、道路の冠水による通行止めや公共交通機関の運休など避難経路の確保も難しくなります。

余裕をもった早めの避難をこころがけ、逃げ遅れのないようにしましょう。



運行情報を
チェック



名古屋市交通局は
こちら



名古屋鉄道は
こちら



城北線は
こちら

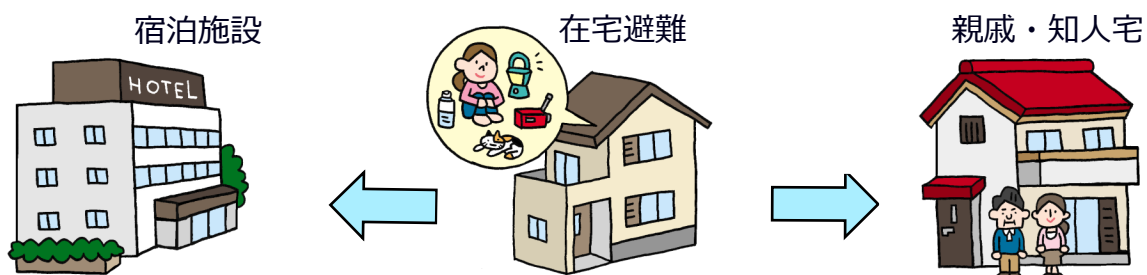


JR東海は
こちら



複数の避難先を検討しよう

屋内での安全確保が困難な地域では、事前に立ち退き避難先を検討すると安心です。
指定緊急避難場所は不特定多数の方が利用し、感染症の心配をはじめ心身に負担がかかるとともに、西区内では浸水により水が引くまで外に出られなくなる可能性もあります。
まずは親戚や知人宅、宿泊施設などへの避難を検討してみましょう。



あなたは
いつ避難する？

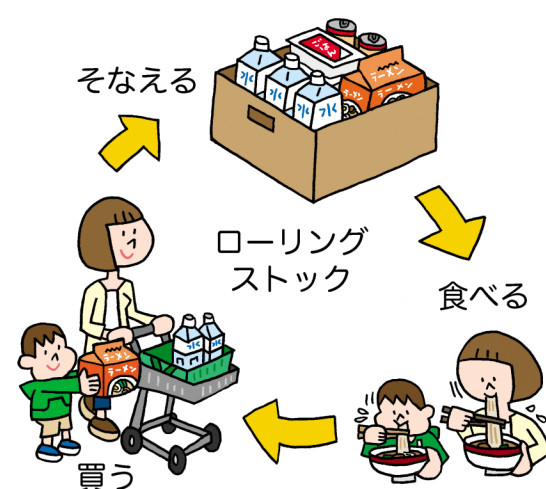
自宅から避難先までの所要時間や準備にかかる時間を踏まえて、避難するタイミングについても考えておきましょう。

7日分の備蓄をしよう

水害による浸水が発生するとライフラインが停止したり、物流が滞る可能性があります。
飲料水や食料など7日分を目安として日頃からの備蓄に努めましょう。

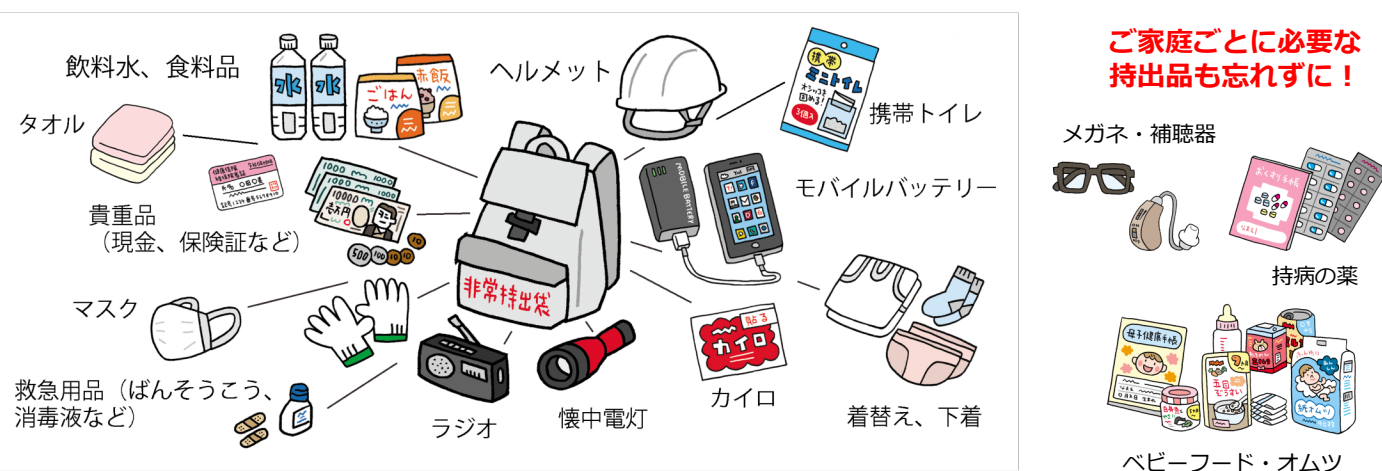
- ☐ 非常食、常温で保存のきく食品
 - ☐ 飲料水（ひとり1日3リットル）
 - ☐ 持病の薬、常備薬
 - ☐ トイレ用品
 - ☐ 燃料（カセットボンベなど）
- 最低でも 3日分は準備！**
- あと便利な
カセットコンロ

防災のために特別なものを用意しなくても、レトルト食品など身近で長期間保存できる食品を備蓄するのが簡単です。
ローリングストック法を活用し、日常生活の中で備蓄をしてみましょう。



非常持出品を準備しよう

3日分の食料や防災用品など避難時に必要となるものは、あらかじめリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



ご家庭ごとに必要な
持出品も忘れずに！

避難に関する情報

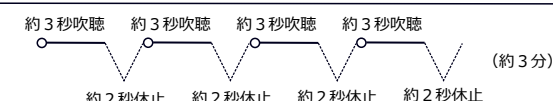
避難に関する情報はテレビ・ラジオ、インターネット、緊急速報メール、防災スピーカー、広報車など様々な手段を用いて広報されます。
聞き逃さず、逃げ遅れの無いように、積極的な情報収集を心がけましょう。



高齢者等避難
サイレン鳴ったら
全員避難！

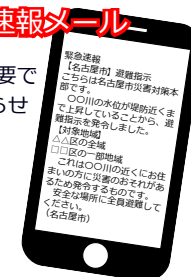
避難指示・緊急安全確保で鳴ります！

避難指示発令時のサイレン吹聴パターン



緊急速報メール

登録不要で
お知らせ



気象・河川に関する情報

気象庁 あなたの街の防災情報 <http://www.jma.go.jp/bosai/>
警報・注意報、早期注意情報のほか、雨雲の動きや台風経路、洪水予報など



国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
川の水位や流域の雨量、河川のライブカメラ映像など



愛知県 川の防災情報 <http://www.pref.aichi.jp/>
新川の河川監視カメラ映像をはじめ、県内の雨量や河川の情報など



名古屋市 水防情報システム <http://www.nagoya-city.bosai.info/>
名古屋市内の防災情報、時間雨量や河川水位など



上下水道局 雨水（あまみず）情報 <http://www.water.city.nagoya.jp/subsys/rainwater/>
排水ポンプの運転状況など



あなたと大切な人の命を守るために

災害が発生したとき、あなたと大切な人の命を守るためには、自助、共助、公助という3つの助け合いの力が必要になります。

その中で最も大切なのは「**自分や家族の命を守る責任者は自分自身**」という自助の意識です。

自分や家族の命を守れなければ、他の誰かを助ける共助は難しくなります。

災害はあなたが家にいないときに起きるかもしれません。そんな時、あなたの家族を助けることができるのは、地域の人々の共助の力です。

いざというとき、あなたと大切な人の命を守るため、まずは自分でできる備えに取り組むとともに、地域の人々との助け合いの関係を作りましょう。



事前準備編

5日前

警戒
レベル1

水害時に想定される出来事ととるべき行動

梅雨前線・秋雨前線の停滞

台風の発生

早期注意情報・台風情報
(気象庁)

大雨の危険度・台風の進路の確認

自宅の安全性の再確認

備蓄品・非常持出品の確認

避難先、避難経路の検討



側溝・雨水樹の清掃

計画運休情報
(公共交通機関)

前日

雨が強まってきた

警戒
レベル2大雨注意報・洪水注意報
(気象庁)

公共交通機関運休

浸水への対策
(簡易水防工法・家財の移動など)氾濫注意情報
(河川管理者)今後の雨の予報を確認！
大雨が続く場合は避難行動編へ

西区外への自主避難はここまでが安全

水防団
待機水位
到達氾濫注意
水位到達

我が家の行動

家族と一緒に
記入しよう！

最大の浸水想定

浸水 階 浸水時間 日

備蓄品・非常持出品

食料・水・持病の薬 日分
買い出し ☐ 要 ☐ 不要

避難先 所要時間

第1
候補
第2
候補

避難するタイミング

☐ 事前の自主避難
☐ 高齢者等避難 ☐ 避難指示計画運休の実施予定
☐ 有 ☐ 無

運休時の交通手段

我が家の対策 やるひと

水位を確認する河川

☐ 庄内川 ☐ 矢田川
☐ 新川 ☐ 木曽川

今後の雨の見込み

☐ 弱まる ☐ 大雨が続く

避難行動編

警戒
レベル3大雨警報・洪水警報
(気象庁)

アンダーパス通行止め

高齢者等避難の発令前に小学校などへ
避難する場合は区役所に相談高齢者等避難
(名古屋市)氾濫警戒情報
(河川管理者)避難に時間のかかる
高齢者、障害者、妊婦などは避難

道路冠水

地下街浸水

警戒
レベル4氾濫危険
水位到達避難指示
(名古屋市)氾濫危険情報
(河川管理者)

危険な場所から全員避難！

道路冠水時の移動はマンホール、
側溝などに注意！
膝上まで浸水している場合は無
理に移動せず、最寄りの高い場所
に避難！

ここまで全員避難完了

警戒
レベル5排水ポンプ
停止大雨特別警報
(気象庁)緊急安全確保
(名古屋市)命を守る
最善の行動
頑丈な建物の高い所へ！

内水氾濫、床上浸水発生

停電、断水

氾濫発生情報
(河川管理者)

氾濫発生

我が家の行動

指定緊急避難場所の開設状況
西区役所 ☎052-523-4513☐ 開設済 ☐ 未開設

地域の助け合い

避難時の服装

- ☐ 目立つ色の雨合羽
- ☐ 長袖長ズボン
- ☐ 運動靴
- ☐ 軍手、手袋
- ☐ マスク
- ☐ 頭部を守るもの
- ☐ 杖や長い棒

逃げ遅れた時の避難場所

避難時の最終確認

- ☐ 避難先の受入準備状況
- ☐ 避難に適した服装
- ☐ 食料・水・持病の薬
- ☐ 非常持出品
- ☐ 家族との連絡
- ☐ 元栓、ブレーカーの遮断
- ☐ 戸締りの確認

※ 実際の災害時に起こる出来事やタイミングは気象条件などにより異なります。
作成したマイタイムラインはあくまで目安として考え、臨機応変に行動してください。